

指定統計
第1号

国勢調査調査票

昭和35年10月1日

世帯番号 世帯主氏名

総理府統計局

国勢調査について

この10月1日には、全国いっせいに、国勢調査が行なわれます。

国勢調査は、わが国の人口の状況をしらべて政治や行政の基礎資料とするために、大正9年以来5年ごとにくりかえされてきた、国のもっとも基本的な統計調査であります。

ご多用のことは存じますが、この調査票によって、もれなく正しくお答えくださるようお願いいたします。

なお、この調査票に書かれたことからは、統計をつくるためだけに使われるもので、徴税などに直接利用することは法律でもかたく禁じられていますから、ありのままをお聞かせくださるようお願いいたします。

記入する前にお読みください

- 1 頃 調査員がこの調査票を集めにうかがいますから、それまでに記入面の「世帯主が記入する欄」と第3面のおぼえ書き欄に記入しておいてください。記入面の「調査員が記入する欄」は、調査員が皆様におたずねして記入することになっていますから、世帯主の方は記入しないでください。
- 2 この調査票は、世帯ごとに作ることにしています。つぎのような人については、とくに注意してください。

下宿人

 - 下宿している人は、各人ごとにそれぞれ調査票を作ります。
 - 家族といっしょに下宿または同居していれば、その家族ごとに一つの世帯として別に調査票を作ります。
 - 会社・学校などの寄宿舎・独身寮などでは、寄宿人・寮生などをまとめて調査票を作ります。

住込みの雇い人

 - 住込みの家事使用人は、雇い主の世帯の世帯員として、雇い主の世帯の調査票に記入します。
 - 住込みの営業使用人は、5人以下の場合は雇い主の世帯に含め、6人以上の場合は営業使用人だけをまとめて一つの世帯とし別に調査票を作ります。
- 3 調査票には、あなたの世帯にふだん住んでいる世帯員をもれなく記入してください。ここでふだん住んでいる世帯員というのは、あなたの世帯にすでに3か月以上住んでいるか、または3か月以上にわたって住むことになっている人です。

つぎの人たちは、それぞれつぎに述べる場所で申告することになっていますから注意してください。

旅行や出かけなどで一時不在の人 は、不在期間が3か月以上にわたらないときは自宅で申告します。

寄宿舎・下宿などから通学している学生・生徒 は、自宅で申告しないで、寄宿舎・下宿などで申告します。

病院・療養所などの入院患者のうち、すでに3か月以上入院している人は入院先で申告し、入院してから3か月にならない人は自宅で申告します。

船舶に乗り組んでいる人は、自宅で申告します。

自衛隊の営舎内または艦船内の居住者は、自宅で申告しないで、すべて営舎または艦船で申告します。

刑務所・拘留所の収容者のうちで、刑の確定している人と、少年院・婦人補導院の収容者は、全部そこで申告します。

3か月以上にわたって住んでいたところ または住もうと思っているところがない人は、現在いる場所で申告します。

記入例

記入面の「世帯主が記入する欄」には下の例を参考にして書いてください。

記入例1

世帯主が記入する欄											
1氏名	2世帯主との続柄	3男女の別	4出生の年月日	5国籍	6一年前の常住地		7教育		8配偶の関係	9結婚年数	10子供の数
					(イ)	(ロ)	(イ)	(ロ)			
野沢三郎	世帯主	男	(大正) 9年10月7日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	16年	3人
野沢すみ	妻	女	(大正) 14年7月30日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	16年	3人
野沢良作	長男	男	(昭和) 21年9月2日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	年	人
野沢雪枝	長女	女	(昭和) 26年4月3日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	年	人
野沢節子	二女	女	(昭和) 30年8月7日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	年	人
野沢くめ	母	女	(明治) 29年6月10日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	29年	4人
山本豊	妻の弟	男	(昭和) 15年12月4日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	年	人

記入例2

世帯主が記入する欄											
1氏名	2世帯主との続柄	3男女の別	4出生の年月日	5国籍	6一年前の常住地		7教育		8配偶の関係	9結婚年数	10子供の数
					(イ)	(ロ)	(イ)	(ロ)			
河田一男	世帯主	男	(明治) 33年3月16日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	年	人
河田大助	長男	男	(昭和) 2年5月15日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	年	人
河田さゆり	長男の妻	女	(昭和) 6年7月6日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	2年	1人
名づけず	長男の長女	女	(昭和) 35年9月29日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	年	人
市村茂子	家事使用人	女	(大正) 3年11月13日	日	山梨県 境川	未就学	小	未	有	18年	2人
松本博	営業使用人	男	(昭和) 8年9月28日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	年	人

記入例3

世帯主が記入する欄											
1氏名	2世帯主との続柄	3男女の別	4出生の年月日	5国籍	6一年前の常住地		7教育		8配偶の関係	9結婚年数	10子供の数
					(イ)	(ロ)	(イ)	(ロ)			
細井好子	世帯主	女	(明治) 42年12月24日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	21年	5人
細井みどり	長女	女	(昭和) 7年8月3日	日	アメリカ	未就学	小	未	有	年	人
細井洋一	長男	男	(昭和) 9年5月10日	日	東京 世田谷	未就学	小	未	有	年	人
細井正子	三女	女	(昭和) 12年8月7日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	年	人
細井良夫	二男	男	(昭和) 16年11月8日	日	群馬県 野沢町	未就学	小	未	有	年	人
中村富子	兄の女	女	(昭和) 5年2月2日	日	福島県 田島	未就学	小	未	有	0年	0人

おぼえ書き欄

勤め人の方については調査のときその人が不在でもわかるように下の各欄に記入しておいてください。

事業の種類は		仕事の種類は	
注	○製造業の場合は 製品名がわかるように記入し 二種以上の製品を作っている場合は そのうちおもなものを一つだけ書いてください	○何々係などとせず 事務に従事しているか 製造販売などに従事しているかの別と仕事の内容がわかるように書いてください	○たとえば 会計事務・人事事務・板金工・繰糸工・船舶設計技師などまたは具体的に「ビールを箱につめる仕事」など
意	○販売業の場合は おもな商品名と卸売か小売かの別をかならず書いてください		
勤め人の方の氏名	勤め先の名称と事業の種類	勤め先で本人がしている仕事の種類	従業地
	名称 事業の種類		都道府県 市町村 就業時間 (24時間以上)
	名称 事業の種類		都道府県 市町村 就業時間 (24時間以上)
	名称 事業の種類		都道府県 市町村 就業時間 (24時間以上)
	名称 事業の種類		都道府県 市町村 就業時間 (24時間以上)
(記入例) 野沢三郎	株式会社 鈴木商会西成支店 紳士既製服卸売	トラックの運転	大阪 大阪 西成 15時 15分 35分 60分 1時 1分 24分 59分 時間未満

7教育欄の学校の種類

記入面の「7教育」欄でいう学校は、おもにつきのような種類のものをいいます。

小	小学校 国民学校初等科 尋常小学校 盲学校・ろう学校・養護学校の小学部または初等部	新	新制の高等学校 保母養成所 看護婦養成所
高小	国民学校高等科 高等小学校 通信講習所普通科	短	短期大学
新中	新制の中学校 盲学校・ろう学校・養護学校の中学部	本	都道府県立農業講習所 (新卒生も入学資格とする) 看護婦養成所 保母養成所 (修業年限2年以上のもの)
新高	青年学校普通科・本科 実業補習学校 陸軍軍工員養成所 (高小卒を入学資格とするもの)	高	旧制の高等学校 専門学校 大学予科 高等師範 師範学校本科(昭和21年からの卒業生)
旧中	旧制の中学校 高等女学校 実業学校およびそれらの補修科・専攻科 師範学校(一部 二部) 鉄道教習所中等部・普通部(昭和24年までの卒業生) 通信講習所高等科 陸軍幼年学校 海軍甲種予科練 旧看護婦学校 専検・実検合格者	高専	高等通信講習所本科 陸軍士官学校 海軍兵学校 水産講習所(昭和27年までの卒業生)
中		大	大学 大学院 航空大学校 防衛大学校 海上保安大学校本科 水産講習所(昭和29年からの卒業生)

注 1 高等学校・短期大学・大学については、定時制およびこれらの学校の卒業資格が得られる通信教育による課程も含めます。
2 中途退学した人は、最後に卒業した学校について記入します。
3 外国の正規の学校については、上の表に準じて記入してください。
4 洋裁学校・料理学校・会話学校などや職員の研修所・養成所・講習所・訓練所などの在学者または卒業生は、その前に卒業した学校について記入してください。

世帯主が記入する欄

- 注意**
- 1 記入する人の範囲……第1面の説明をみてください
 - 2 記入の仕方……第2面に記入例がありますからみてください
3欄・6欄(イ)・7欄および8欄はあてはまる文字をまるでかこんでください
 - 3 「7教育」欄について……第3面の説明をみてください
 - 4 その他の注意
イ 青か黒のインキで書いてください
ロ 同じことを書くときでも「同」「カ」などとせずくりかえして書いてください
ハ 書きまちがえたときは線をひいて消し その行の余白に書きなおしてください
- 8欄が有・死別・離別の女子について
男子と未婚の女子は斜線をひいてください

行番号	1 氏名	2 世帯主との続柄	3 男女の別	4 出生の年月日	5 国籍	6 一年前の常住地	7 教育	8 配偶の関係	9 結婚年数	10 子供の数
	あなたの世帯にふだん住んでいる人の氏名をつぎのような順序で書いてください 世帯主 妻 未婚の子供 既婚の子供とその家族 両親や祖父母 兄弟姉妹 その他の親族 住込みの雇い人 その他 昭和35年9月30日までに生まれてまだ名のついていない乳児は「名づけず」と書いてください	世帯主の何にあたるかをつぎのように書いてください 普通の世帯では 世帯主 妻 三男 長男 長男の妻 長男の長女 妻の弟 家事従用人 営業従用人 寄宿舎・独身寮などでは 代表者 寄宿生 寮生	男は…… 女は…… (男) (女) のように入りますのでかこんでください	戸籍の届けとは関係なく実際に生まれた年月日を書いてください 数字は1, 2, 3……のように入用数字で書いてください かつこの中に 明治・大正・昭和などの年号を書いてください	その他の場合は…… 日本の場合には…… 日と書いてください	(イ) 一年前に他所に任んでいた人は…… 現在の家に住んでいた人は…… (ロ) 1年前の常住地が六大都市の場合は区名まで書いてください 当市区町村内の他所に住んでいた場合は当市・当区・当町・当村と書いてください	(イ) 卒業した人は…… 現在在学中の人は…… (ロ) 在学の人には最終卒業学校を書いてください 短期大学 旧制の高等学校 専門学校などは…… 新制大学 旧制の高等学校 専門学校などは…… 新制中等学校 旧制の中等学校 高等学校などは…… 青年学校 旧制の高等小学校 国民学校 高等科などは…… 旧制の高等小学校 国民学校 高等科などは…… 新制小学校 旧制の尋常小学校などは……	届け出の有無に関係なく書いてください 妻または夫と死別して独身の人は…… 妻または夫のある人(有配偶者)は…… 結婚したことのない人(未婚者)は……	結婚してからの期間を書いてください 1年未満の期間は切り捨てます 結婚してまだ1年未満の女子は0と書いてください 再婚の女子はいままで結婚年数を通算して書いてください	いまだに生んだ子供の数を書いてください 出生後に死んだ子供の数も含めます 子供を生んだことのない人は0と書いてください 再婚の女子はいまだに生んだすべての子供の数を書いてください
1			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
2			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
3			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
4			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
5			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
6			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
7			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
8			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
9			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
10			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
11			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人
12			男女	() 年 月 日	当所 他所	都道府県 市郡支庁 区町村	未就学 卒業 小学 高小 新中 育学 旧中 新高 短大 大学	未 有 死 別 離 別	年	人

世帯主(調査票が2枚以上にあたる場合は1枚目に世帯員の総数を書き2枚目からは斜線をひいてください) 男 人 女 人 計 人

(各欄の記入にまちがいのないことを確かめたのち氏名を書いて捺印を押しつけてください) 世帯主(または世帯の代表者)氏名 印

調査員が記入する欄

(イ) 都道府県名	(ロ) 市郡支庁名	(ハ) 区町村名	(ニ) 調査区番号 第 () 号	(ホ) 世帯番号 第 () 号
(ヘ) 世帯の種類 1 普通世帯 2 準世帯	(ト) 準世帯の種類 1 一人の準世帯 2 営業使用人の世帯 3 学校の寄宿舎 4 会社などの寄宿舎 5 病院・療養所 6 社会施設 7 船 8 その他→ ()	(チ) 住居の種類 1 住宅 2 寄宿舎 3 その他	(リ) 所有の関係 1 持家 2 借家 3 持ち家 4 間借	(ル) 家計の収入の種類 (普通世帯および1人の準世帯について) みてはまるもの全部を () そのうちおもなもの () でかこむ 1 家賃収入 2 賃金給料 3 家賃地代 4 利子配当 5 内 職 6 恩給年金 7 失業保険 8 生活保護 9 仕送り 10 その他→ ()

統計局が記入する欄(X)			
A 世帯人員 総数	B 経済構成	C 家族構成	D 世帯構成
	E 家族人員年令区分 65以上 総数	F 15以下 15以上	G 親族就職者数 男 女

11 昭和21年以後に生まれた人は... Xを記入する Xの人は12欄に斜線をひく	12 就業状態 9月24日から30日までの1週間に (イ) 働いた人 (ロ) 働かなかった人 (ハ) 働いたが... (ニ) 働いたが... (ホ) 働いたが... (ヘ) 働いたが... (ト) 働いたが... (チ) 働いたが... (リ) 働いたが... (ル) 働いたが... (ニ) 働いたが... (ホ) 働いたが... (ヘ) 働いたが... (ト) 働いたが... (チ) 働いたが... (リ) 働いたが... (ル) 働いたが...	13-17欄には 13 就業時間 14 事業所の名称 15 事業所の事業の種類 16 本人がしている仕事の種類 17 従業上の地位	18 従業地または通学地 (イ) 働いた人 (ロ) 働いたが... (ハ) 働いたが... (ニ) 働いたが... (ホ) 働いたが... (ヘ) 働いたが... (ト) 働いたが... (チ) 働いたが... (リ) 働いたが... (ル) 働いたが...	統計局が記入する欄(Y)		
	就業時間	事業所の名称	事業の種類	本人がしている仕事の種類	従業上の地位	従業地または通学地

統計局が記入する欄(Z)					
15才以上 親族就職者数	農林漁 従業者	業主	雇用	非農林漁 従業者	業主

調査票通し番号 (1) この世帯の調査票 枚のうち... 枚目	(2) この調査区の調査票 枚のうち... 枚目	調査員 印
---------------------------------------	-----------------------------	----------